

大項目	中項目	小項目	
8. 治療を受ける高齢者への看護	A. 薬物療法	b. 感染症の罹患予防と感染拡大の防止策	
		a. 加齢に伴う薬物動態の変化	
		b. 服薬管理とリスクマネジメント	
	B. 手術療法	c. 薬物療法を受ける高齢者への援助	
		a. 麻酔・手術侵襲が高齢者に与える影響	
		b. 高齢者の手術療法におけるインフォームドコンセントと看護の役割	
		c. 術前準備における高齢者への援助	
		d. 術中における高齢者への援助	
	C. リハビリテーション	e. 高齢者に起こりやすい術後合併症の予防と援助	
		a. 高齢者に対するリハビリテーションの意義と特徴	
	D. 受療形態に応じた高齢者への看護	b. リハビリテーションを受ける高齢者の看護	
		a. 入院時の看護	
		b. 外来診療時の看護	
		c. 検査時の看護	
	9. 高齢者の終末期の看護	A. 高齢者の死にかかわる権利と医療・ケア提供者の責務・役割	d. 退院計画と退院時の看護
a. 高齢者の死亡の動向			
b. 終末期の概念と高齢者の晩年期の特徴			
c. 終末期における生き方や死の迎え方の意向（アドバンスディレクティブ<事前指示>、リビングウィル）			
d. 家族の参加と家族への支援			
B. 終末期看護の実践		e. 多専門職種からなる医療・ケアチームによる終末期支援の意義と役割	
		a. 身体兆候のアセスメントと看護	
		b. 苦痛の緩和と安楽への看護	
		c. 精神的苦痛や混乱に対する看護	
C. 看取りを終えた家族への看護		d. 臨死期の評価と看護	
		a. 家族の心理の理解と看護	
		b. 家族へのグリーフケア	
			c. 家族の生活の再構築への看護

目標Ⅲ. 保健医療福祉制度の変革が老年看護に与える影響、看護師の果たす役割の変化についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
10. 介護保険と老年看護	A. 高齢者の保健医療福祉の関連施設における看護	a. 保健医療福祉の関連施設の看護
		b. 介護療養型医療施設の特徴と看護
		c. 介護老人保健施設の特徴と看護
		d. 介護老人福祉施設の特徴と看護
		e. 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）の特徴と看護
		f. 小規模多機能型居宅介護の特徴と看護
	B. 在宅高齢者の看護	a. 退院計画と退院調整
		b. 生活の場の移転<リロケーション>
		c. チームケアと看護の役割
		d. 事故の予防対策
11. 高齢者を介護する家族への看護	A. 介護家族の生活と健康	a. 要介護高齢者と家族の理解
		b. 介護者の健康と介護力
		c. 家族生活への影響
	B. 介護家族への看護	a. 家族介護状況の把握と分析
		b. 家族援助の視点と看護
		c. 介護力の評価
		d. 介護適応への看護
		e. 支援ネットワークづくり
	C. 家族介護の課題	a. 介護問題の社会的動向
		b. 地域支援と市民参加
		c. 介護の社会化と看護の役割

【小児看護学】

目標Ⅰ. 子どもの成長・発達と健康増進のための子どもと家族への看護実践についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 子どもと家族の看護の概念	A. 小児医療、小児看護の変遷	a. 小児医療の変遷
		b. 小児看護の変遷
	B. 子どもの人権と看護	a. 子どもの権利と歴史的流れ

大項目	中項目	小項目
		b. 小児看護と倫理的配慮
		c. 児童憲章
		d. 児童福祉法、母子保健法、児童虐待の防止等に関する法律
		e. 児童の権利に関する条約
		f. 健やか親子21
		g. 権利擁護〈アドボカシー〉
		h. インフォームドアセント
		i. 子どもと家族をとりまく社会の変化
		j. 虐待防止
2. 子どもの成長と発達	A. 成長・発達の原則	a. 一般的原則
		b. 成長・発達に影響する因子
	B. 形態的・機能的発達	a. 形態的成長発達
		b. 機能的発達
	C. 心理社会的発達	a. 認知
		b. 情緒
		c. 社会性
		d. コミュニケーション
		e. 遊び
		f. 発達課題
	D. 発育・発達の評価	a. フィジカルアセスメント
		b. 身体発育の評価
c. 精神・運動機能の評価		
d. 養育環境のアセスメント		
3. 新生児の健康増進のための看護	A. 新生児の健康増進と安全な環境の提供	a. 低出生体重児
		b. 栄養
		c. 感染予防
		d. 事故防止
	B. 新生児のいる家族への看護	a. 親子関係
		b. 地域保健サービスの活用
4. 乳児の健康増進のための看護	A. 乳児の健康増進と安全な環境の提供	a. 離乳食
		b. 運動と遊び
		c. 分離不安
		d. 事故防止

大項目	中項目	小項目
	B. 乳児のいる家族への看護	a. 親子関係 b. 地域保健サービスの活用
5. 幼児の健康増進のための看護	A. 幼児の健康増進と安全な環境の提供	a. 基本的な生活習慣の確立
		b. 運動と遊び
		c. 予防接種
		d. 事故防止
	B. 幼児のいる家族への看護	a. 家族関係 b. 地域保健サービスの活用
6. 学童の健康増進のための看護	A. 学童の健康増進とセルフケアの発達	a. セルフケアと保健教育
		b. 食生活
		c. 学校への適応
		d. 学習と遊び
		e. 生活習慣病の予防
		f. 第二次性徴
		g. 安全教育
		h. 学校保健
	B. 学童のいる家族への看護	a. 学童の情緒と家族関係
7. 思春期の子ども健康増進のための看護	A. 思春期の子ども健康増進とアイデンティティの確立	a. セルフケアと保健教育
		b. 食生活
		c. 親からの自立
		d. 異性への関心
	B. 思春期の子どもがいる家族への看護	a. 子どもをとりまく社会環境
		b. 子どもの問題行動と家族関係

目標Ⅱ. 健康障害のある子どもと家族が生活・療養するための看護実践についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
8. 病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護	A. 病院環境とプレパレーション	a. 病院環境
		b. 医療を受ける子どもの権利擁護と発達支援
	B. 病気や入院が子どもと家族に与える影響	a. 各発達段階にある子どもの病気の理解
		b. 影響に関与する因子
		c. 子どもへの影響
		d. 家族への影響

大項目	中項目	小項目	
9. さまざまな状況にある子どもと家族への看護	C. 病気になった子どもと家族の看護	a. 発達段階別の子どもと家族への看護	
		b. 入院各期の子どもと家族への看護	
		c. 計画入院・緊急入院時の子どもと家族への看護	
	A. 外来における子どもと家族	a. 緊急度の把握	
		b. 感染症への対処	
		c. 受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減	
		d. 健康診査・育児相談	
		B. 検査や処置を受ける子どもと家族	a. 発達に応じたプレパレーション
			b. 安全・安楽への看護
			c. バイタルサインの測定
			d. 身体計測
			e. 採血
			f. 採尿
			g. 骨髄穿刺
			h. 腰椎穿刺
	i. 与薬		
	j. 注射		
	C. 活動制限が必要な子どもと家族	a. 活動制限の目的	
		b. 身体的・心理社会的影響	
c. 子どもの発達段階に応じた看護			
d. 子どもの日常生活にかかわる家族の看護			
D. 感染対策上隔離が必要な子どもと家族	a. 隔離の目的・方法		
	b. 身体的・心理社会的影響		
	c. 子どもの身体・情緒・発達面を考慮した日常生活の看護		
	d. 家族の面会や付き添いにおける看護		
E. ハイリスク新生児と家族	a. ハイリスク新生児の集中治療と看護		
	b. 親子・家族関係の促進		
F. 先天的な問題のある子どもと家族	a. 先天異常の種類と特徴		
	b. 子どもの発達段階に応じた看護		
	c. 子どもの先天的な問題に対する家族の理解と受容への看護		
	d. 子どもの養育とケア技術獲得に対する家族の看護		

大項目	中項目	小項目
	G. 周手術期における子どもと家族	a. 子どもの手術の特徴
		b. 手術を要する健康障害と手術の時期
		c. 計画手術と緊急手術
		d. 日帰り手術
		e. 子どもと家族の準備状態の把握とプレパレーション
		f. 子どもの安全・安楽への看護と家族の看護
		g. 退院に向けての看護
	H. 心身障害のある子どもと家族	a. 心身障害の種類と定義
		b. 発達障害
		c. 障害の受容
		d. 経管栄養法
		e. 子どもと家族の日常生活の看護と社会資源の活用
	I. 急性期にある子どもと家族	a. 発熱時の看護
		b. 脱水時の看護
		c. 呼吸困難時の看護
		d. けいれん時の看護
		e. 生命徴候が危険な状況にある子どもと家族への看護
	J. 慢性期にある子どもと家族	a. 小児慢性特定疾患治療研究事業
		b. 病気の時間的経緯と急性増悪
		c. 病気による子どもと家族の生活の変化
		d. 学校の受け入れ
		e. 子どもの発達とセルフケアの獲得への看護
		f. 家族への看護
	K. 痛みのある子どもと家族	a. 子どもの痛みの受け止め方
		b. 痛みの表現方法
		c. 痛みの客観的評価
		d. 痛み緩和の看護
L. 在宅における子どもと家族の看護	a. 入院生活から在宅への移行に向けた支援	
	b. 在宅療養の支援	
M. 終末期にある子どもと家族	a. 子どもの死の概念	
	b. 死に対する子どもの反応と看護	
	c. 子どもへの病気の説明	

大項目	中項目	小項目
		d. 終末期にある子どもの心身の状態と緩和ケア
		e. 子どもの死を看取る家族の反応と看護
	N. 救急救命処置が必要な子どもと家族	a. 子どもの事故
		b. 主な誤飲物質と処置
		c. 子どもの熱傷の特徴・重症度および処置
		d. 溺水と処置
		e. 子どもの一次救命処置
		f. 乳幼児の意識レベル
		g. 吸引
		h. 酸素療法
		i. 救急処置を受ける子どもと家族の不安の緩和
	O. 災害を受けた子どもと家族	a. 災害による子どものストレス
		b. 災害時の子どもと家族への看護

【母性看護学】

目標Ⅰ. 母性看護の対象となる人々、関連する保健医療のしくみ、倫理的問題、人間の性と生殖のしくみについての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 母性看護の概念	A. 母性看護の主な概念	a. 母性の概念・母性の発達
		b. 性役割
		c. 家族の発達・機能
	B. 母性看護と倫理	a. 妊産褥婦・胎児および新生児の権利と擁護
		b. 自己決定の尊重
		c. プライバシーの保護
		d. 人間の性と生殖や医療における倫理（出生前診断、胎児治療、高度生殖医療、人工妊娠中絶、ハイリスク児の医療）
	C. 母性看護と法整備	a. 子育て支援施策
		b. 母性の就労の関係法規
		c. 母体保護法
		d. 母子保健法

大項目	中項目	小項目
	D. 周産期医療・生殖医療におけるチーム医療	a. チーム医療の必要性 b. 職種間の連携・協働
2. 人間の性と生殖	A. ヒトの発生と遺伝的要素	a. 発生・分化のメカニズム
		b. 染色体・遺伝子
	B. 性と生殖の機能のメカニズム	a. 性周期
		b. 生殖機能のメカニズム
		c. 性反応
		d. 受胎のメカニズム

目標Ⅱ. ライフサイクル各期にある女性のリプロダクティブヘルスの維持増進、新しい家族の誕生期にある人々が健康生活を営むための看護実践に必要な基礎的知識を問う。

大項目	中項目	小項目
3. 女性のライフサイクル各期における看護	A. 思春期・成熟期・更年期女性のリプロダクティブヘルスの課題と看護	a. 第二性徴
		b. 性意識・性行動の発達
		c. 性感染症
		d. 家族計画
		e. 不妊症
		f. ホルモンの変化と閉経
		g. 更年期症状と看護
4. 周産期にある人と家族の看護	A. 妊娠の生理と妊婦の看護	a. 妊娠の経過と胎児の発育
		b. 妊婦の心理
		c. 妊娠と不快症状
		d. 妊婦の日常生活とセルフケア
		e. 出産・育児の準備
		f. 親役割の準備
	B. 分娩の生理と産婦の看護	a. 分娩の経過と胎児の健康状態
		b. 産婦の基本的ニーズと看護
		c. 産痛の緩和
		d. 産婦と家族の心理
	C. 産褥の生理と褥婦の看護	a. 産褥の経過
		b. 褥婦の心理
		c. 褥婦の日常生活とセルフケア
		d. 親役割への支援

大項目	中項目	小項目
	D. 新生児の生理と看護	a. 新生児の生理
		b. 新生児の適応と看護
		c. 親子関係

目標Ⅲ. 周産期にあるリスク因子をもつ母児に対する看護実践に必要な基礎的知識についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
5. ハイリスクな状況にある人と家族の看護	A. ハイリスク妊婦の看護	a. 妊娠経過の健康逸脱（流産、早産、感染症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、妊娠高血圧症候群）と看護
		b. 出生前診断と看護
	B. ハイリスク産婦の看護	a. 分娩経過の健康逸脱（前期破水、帝王切開術、産科出血）と看護
		b. 胎児機能不全
	C. ハイリスク褥婦の看護	a. 産褥経過の健康逸脱（肺塞栓、復古不全、産褥熱、乳腺炎、産後うつ）と看護
		b. 帝王切開術後の看護
		c. 死産、障害をもつ新生児を出産した親の看護
	D. ハイリスク新生児の看護	a. 早産児、低出生体重児の看護
		b. 先天異常、障害をもつ新生児の看護

【精神看護学】

目標Ⅰ. 精神の健康概念とその保持・増進のための看護の基本概念についての理解を問う。

目標Ⅱ. 患者の人権と安全を守り、精神医学の診断・治療を理解した看護実践についての理解を問う。

目標Ⅲ. 精神障害者の地域生活を支えていくための援助についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 精神の健康	A. 精神の健康	a. 精神の健康の概念
		b. 精神障害の第一次予防、第二次予防、第三次予防
	B. 心の健康に関する普及啓発	a. こころのバリアフリー宣言
		b. 新健康フロンティア戦略
		c. 健康日本 21

大項目	中項目	小項目
	C. 精神の機能	a. 意識と見当識
		b. 知的機能
		c. 知覚
		d. 思考
		e. 感情
		f. 意欲と衝動コントロール
		g. 記憶
		h. 注意と集中
		i. 自我機能
		j. 行動
	D. 危機〈クライシス〉	a. 危機の概念
		b. 危機介入
		c. 危機と予防
	E. 発達段階と精神の健康	a. 乳幼児期
		b. 児童・思春期
c. 青年期		
d. 成人期		
e. 老年期		
2. 精神看護の基本概念	A. 生物学的側面	a. 脳の部位と精神機能
		b. 神経伝達物質と精神機能
		c. 脳の脆弱性モデル
		d. 免疫機能と概日リズム
		e. 睡眠
	B. 心理学的側面	a. 精神情緒の発達
		b. 転移感情
		c. 自我の防衛機制
		d. 集団力動
		e. ストレスと対処
		f. 適応理論
	C. 社会的側面	a. 偏見・差別・スティグマ
		b. 施設症
		c. 精神の健康を守る行政システム
		d. 健康増進法
		e. 自殺対策基本法

大項目	中項目	小項目	
		f. 発達障害者支援法	
		g. 犯罪被害者等基本法	
		h. 児童虐待の防止等に関する法律	
		i. 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律	
	D. リエゾン精神看護	a. 心身相関と健康	
		b. 身体疾患をもつ人の精神の健康	
		c. 精神疾患をもつ人の身体 of 健康	
		d. 患者と家族の精神の健康	
		e. 看護職員の精神の健康	
	E. 看護理論	a. 対人関係の看護論	
		b. セルフケア理論	
	3. 看護援助技法	A. 精神症状のアセスメントと援助	a. 不安状態
			b. 抑うつ状態
			c. 躁状態
d. 幻覚			
e. 思考内容と思路の障害			
f. 強迫思考・強迫行為			
g. 意識の変容			
h. 記憶障害			
i. 離脱症状			
j. 知的機能の障害			
B. セルフケアと援助		a. 空気・水・食物の十分な摂取	
		b. 排泄物と排泄のプロセスに関するケア	
		c. 体温と個人衛生の維持	
		d. 活動と休息のバランスの維持	
		e. 一人であることと社会的相互作用のバランスの維持	
		f. 安全を保つ能力	
C. リエゾン精神看護の技法		a. 支持的面接	
		b. 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	
		c. リラクゼーション	
	d. 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進		
4. 精神科治療と看護	A. 精神疾患の診断基準	a. 統合失調症	
		b. 気分障害	

大項目	中項目	小項目
		c. 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
		d. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群
		e. 精神作用物質関連障害
		f. 人格障害
		g. 器質性精神障害
		h. 精神遅滞
		i. 発達障害
	B. 臨床検査	a. 脳波検査・脳の画像検査
		b. 心理検査
		c. 脳脊髄液検査
	C. 薬物療法	a. 抗精神病薬
		b. 抗うつ薬
		c. 気分安定薬
		d. 抗不安薬
		e. 睡眠薬
		f. 抗てんかん薬
	D. 症状マネジメント	a. 服薬自己管理
		b. 心理教育
	E. 精神療法	a. 個人精神療法
		b. 集団精神療法
		c. 認知行動療法
	F. リハビリテーション療法	a. 作業療法
		b. 芸術療法
		c. 生活技能訓練<SST>
5. 安全な治療環境の提供と人権擁護	A. 患者の権利擁護	a. インフォームドコンセント
		b. 入院患者の基本的な処遇
		c. 精神医療審査会
		d. 隔離、身体拘束
	B. リスクマネジメント	a. 病棟環境の整備と行動制限
		b. 自殺・自殺企図・自傷行為
		c. 攻撃的行動、暴力
		d. 災害時地域精神保健医療活動

大項目	中項目	小項目	
6. 精神保健医療福祉の歴史と法制度	A. 精神保健医療福祉の歴史と看護	a. 欧米における精神科医療の歴史	
		b. 日本における精神科医療の歴史	
		c. 精神保健医療福祉における看護師の役割	
	B. 精神保健福祉の法制度	a. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の基本的な考え方	
		b. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による入院の形態	
		c. 精神保健指定医	
		d. 保護者	
		e. 心神喪失者等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律の基本的考え方	
	7. 精神障害者のリハビリテーション	A. 社会復帰・社会参加の基本	a. リハビリテーションの概念
			b. 国際生活機能分類<ICF>
c. 精神障害者ケアマネジメントの基本的な考え方			
d. 長期入院患者の退院支援			
B. 保健医療に関する資源の活用と調整		a. 保健所、市町村、精神保健福祉センター	
		b. 精神科デイケア、精神科ナイトケア	
		c. 訪問看護、精神科訪問看護	
C. 福祉に関する資源の活用と調整		a. 自立支援医療	
		b. 居宅介護<ホームヘルプ>	
		c. 行動援護	
		d. 生活介護	
		e. 短期入所<ショートステイ>	
		f. 共同生活介護<ケアホーム>	
		g. 施設入所支援	
		h. 自立訓練<生活訓練>	
		i. 就労移行支援	
		j. 就労継続支援	
		k. 共同生活援助<グループホーム>	
		l. 地域生活支援事業	
		m. 精神障害者保健福祉手帳	
D. 人的資源の活用と調整		a. 保健師	
		b. 精神保健福祉士	
		c. 作業療法士	

大項目	中項目	小項目
		d. 精神保健福祉相談員
		e. セルフヘルプグループ
		f. チーム医療